

ふかえりのわくわくFP通信

2024年10月号

ちょっと気になる「資産運用」「保険」「年金」などお金についての話題をお届けします。

10月は生命保険料控除

10月～11月にかけて保険会社から保険料控除証明書が送られてきます。

保険料控除証明書は、年末調整や確定申告に必要となります。

所得税や住民税が戻ってくるお得な制度です！
もれなく活用してくださいね。

今はマイページから再発行できる会社も増えてきましたが、紛失してしまうと再発行に時間がかかることがあり、提出期限に間に合わないと面倒なことになりますので、届いたら大切に保管しておいてください。

ところで、ご加入の保険の内容はよく理解していらっしゃいますか？

加入した時はわかっていただけ、今ではよくわからないという方がほとんど…

せっかく、加入しているのにその良さを忘れてしまっは本当にもったいない！

ぜひ、保険会社から控除証明書が送られてくるこの時期、加入している保険の内容について確認する機会にしてみてください。

ご契約内容を説明してほしい方は、こちらからご連絡下さい。

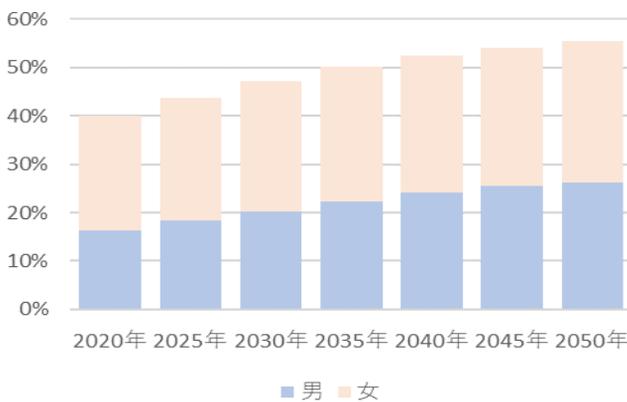
<https://www.fukaeriblog.com/contact/>

「孤独死」「孤立死」、半年で4000人

警察庁の8月の発表によると、今年1月から6月の半年間に警察が遺体の検視を行った102,965人のうち、自宅で亡くなった一人暮らしの方は37,227人でした。

そのうち3,936人は死後1か月以上経過後に発見されました。亡くなった後1か月以上自宅で発見されずにいる人が4,000人近くもいるという事実を聞くと、将来に対して不安を感じる方もいるかもしれません。

下表は2050年までの65歳以上人口に占める一人暮らしの人の割合を表しています。



現在でも65歳以上の人の44%が一人暮らしですが、2050年には55%まで増えることが予想されています。経済的な準備はもちろんですが、社会や周囲の人とのつながりの持ち方も大きな課題ではないでしょうか。

「みらいのお金クリニック」
アルシアコンサルティング株式会社
深川 恵理子

〒251-0023 神奈川県藤沢市鵜沼花沢町2-3PHビル2階
TEL 0466-54-8417 CALL 090-8437-5259

[HP click](#) ◀ [Blog click](#) ◀ [LINE friend](#) ◀ [Twitter follow](#) ◀



ちょっと気になるお金のコラム

クレジットカード不正利用額 過去最高の540億円

7月に新紙幣が発行されましたが、キャッシュレス決済比率が高まったことでいまだに手元にないという人も多いようです。

下図は2010年からのキャッシュレス決済額の推移です。



2023年のキャッシュレス決済金額は126.7兆円、民間の最終消費支出は322.4兆円なので40%近くがクレジットカードなどのキャッシュレス決済でした。キャッシュレス決済の増加に伴い不正利用も増加、2023年の不正利用額は540億円と過去最高でした。

クレジットカード不正利用の代表的な手口

不正利用の被害者にならないためには不正利用の手口を知っておくことが大切です。

1. フィッシング詐欺

金融機関やカード会社、電力・ガス会社を装ってメールやSMSを送り、本物に似せた偽サイトにアクセスさせ、カード情報を入力させるものです。

覚えのない利用先や利用額が記載されていて正常な判断ができなくなり、記載されたURLからカード情報などを入力させます。

メールやSMSが送られてきたらすぐに記載のURLを開かず、送信元のメールアドレスを確認したりタイトル名を検索するなどして確認しましょう。

2. 偽サイトでの買い物

架空のサイトで架空の商品・サービスを販売している場合があります。カード決済をしても商品が届かず、カード情報だけが抜き取られてしまいます。

入手困難な商品が手ごろな価格で販売されている、日本語表記が不自然、会社名や住所が架空、などはオンラインショッピング詐欺である可能性があります。すぐに飛びつかずに慎重に判断しましょう。

3. スキミング

ATMやカードリーダーにスキマーと呼ばれる装置を取り付け、カードの磁気情報を読み取ります。またゴルフ場、ジムのロッカー荒らしによりスキミングされてしまうケースもあるようです。

最近のICチップのカードは暗号化されているので情報を読み取ることが困難になっています。できるだけ磁気カードではなくICチップ搭載のクレジットカードを利用するようにしましょう。

4. ショッピングサイトのログインID、PWの管理

ショッピングサイトの他、交通系サイト、チケット予約サイトなど、クレジットカード情報が登録されているサイトに不正ログインされ、カード情報が盗み出されることもあります。

パスワードの使いまわしを避け、複雑なパスワードを設定しましょう。また、2要素認証がある場合には2要素認証を利用しましょう。

事業者側からの流出などは自分たちでは防ぎようがないですが、自分でできる対策はしっかりと安心して上手にキャッシュレス決済を利用したいですね。